



神奈川支部報

神奈川支部報 第 24号

発行日：2023年1月1日

発行者：込田伸夫

発行所：公益社団法人日本山岳会神奈川支部
横浜市青葉区若草台 2-58 込田方



芦ノ湖と富士山（撮影：葉上）

新年のご挨拶

神奈川支部長 込田伸夫

日本山岳会神奈川支部の皆様、明けましておめでとうございます。

2022年を思い起こしてみますと、この1年も2020年以来の新型コロナ感染が支部活動に大きな影響を与えた年だったといえます。10月8日、9日に横浜上郷・森の郷で開催予定だった神奈川支部主催の全国支部懇談会は、感染者数は減少傾向にあり、また事前に下見や先方との会合など十分な準備をしていたにも拘わらず、全国からの会員を一か所に集め大規模な会食、宿泊を伴う会合の実施に参加者の安心・安全が確保できないと危惧されたため、また全国の会員に周知する時間的な制約もあり、残念ながら4月末の時点で中止の決定をせざるを得ませんでした。同様の理由により、5月28日に開催された神奈川支部総会においても、例年実施する記念講演、総会後の懇親会などは中止といたしました。一方でコロナによる行動規制の解除、および感染者数の減少を反映して、かながわ山岳誌山行、山岳古道調査、自然観察会、妙高・赤倉スキーツアーなどは、十分な感染対策をして実施することができました。

12月3日には3年ぶりに年次晩餐会が京王プラザホテルで、パネルにより仕切られた席で開催され350人を超す会員が参加しました。好天に恵まれた翌日12月4日は、記念山行が秦野の弘法山・権現山で行われ、神奈川支部会員が主力スタッフとして全面的に協力、好評のうちに無事終了することができました。これもひとえに支部会員皆様の多大なご尽力の賜物と大いに感謝しております。新年度からは城址巡り山行や関東ふれあいの道山行が開始され、例年通り妙高・赤

倉での山行やスキーツアーを実施いたします。また上高地・山研をベースとした北アルプス山行なども検討されています。会員の皆様の参加をお待ちしております。

新しい年が神奈川支部の皆様にとりまして、健やかで明るい年になりますことを心より祈念申し上げます。

「かながわ山岳誌」の踏査

フィナーレへ向けて！！

森 武昭

神奈川支部は2016年3月19日の設立総会の議決で発足し、設立記念行事の内容を1年間かけて審議し、「かながわ山岳誌」の実施を決定した。このプロジェクトは、県内すべての山と主な峠を踏査するとともに、地域の古事来歴や山名の由来などの文化情報を収集し、出版物として広く世間にアピールすることを目的としている。

2017年4月15日に高麗山経由湘南平で26名の参加者でキックオフ山行を行った。それから6年(当初計画では5年であったが、コロナ感染の影響で遅れてしまった)で約300の踏査点(立ち入り禁止となっている箇所もいくつかあった)を約100のコース設定で踏査した。2022年12月末現在で残りは数コースとなっている。

踏査完了の見通しが立ったことを受けて、2023年4月15日に大磯鷹取山経由で湘南平に集結し、フィナーレを祝した簡単なイベントを催す計画である。計画が固まり次第案内でお知らせしますので、多くの会員の皆様の参加を期待しています。

踏査は完了の見通しが立ったが、報告書を纏める作業が待っている。原稿はほぼ80%揃っているが、出版社を交えた編集作業の着手はこれからである。より充実した内容で会員の皆様に喜んでいただき、支部設立のイベントを仕上げたいと思っている。

新年度から新企画始まる

6年に渡って取り組んできた「かながわ山岳誌」の終了を受けて、役員会では支部として取り組む次の企画を検討してきた。このほど以下の二つの企画を進めることになったので以下に紹介する。

活発な支部活動につながるべく支部会員の参加に期待される場所である。

城跡ハイキング

担当：中島良行

【概要】神奈川県内には約400の城があったと言われている。それらのほとんどは中世・戦国期の城跡で、小高い丘に造られている。これらの城跡をハイキングの対象とし、それらをめぐる歴史探訪と健康づくりのハイキングを行なう。

【実施計画】

2023年

3月18日(土)

大塚遺跡(弥生時代の環濠集落)、茅ヶ崎城、小机城

5月13日(土) 衣笠城、怒田城

9月9日(土) 津久井城 小松城

11月11日(土) 土肥城

2024年

1月13日(土) 小田原城

3月9日(土) 八王子城、片倉城

※初回を除き第2土曜日

※数年かけて実施・・・候補地(下記記載)

※現地調査等の結果により、行先が変更になる場合あり。

【参加者募集】

2月から募集(3月分)

・山岳会会員以外も公募 20名

・会 員 山岳誌山行と同様の方法で募集

【候補地】

- (川崎) 小沢天神山城、枳形山
(横浜) 小机城、茅ヶ崎城、大塚遺跡、榎下城
(横須賀) 浦賀城、衣笠城、怒田城
(三浦) 新井城、三崎城
(葉山) 鑑摺城
(鎌倉) 玉縄城、「鎌倉城」
(藤沢) 大庭城
(綾瀬) 早川城
(相模原) 小松城、津久井城
(愛川) 細野城
(厚木) 七沢城
(伊勢原) 丸山城
(平塚) 岡崎城、住吉要害
(大磯) 高麗山城
(山北) 河村城
(南足柄) 足柄城
(小田原) 石垣山城、小田原城
(湯河原) 土肥城
(箱根) 湯坂城
(県外) 江戸城、八王子城、片倉城、岩殿城、山中城

関東ふれあいの道を歩こう

担当：永井泰樹

【概要】関東ふれあいの道とは、環境省の長距離自然歩道構想に基づき関東地方1都6県が整備している総延長1,799kmの自然歩道のことである。別名を首都圏自然歩道という。今回、このうちの神奈川県エリアを歩き、健康増進を兼ねて、美しい自然や田園風景、歴史や文化遺産にふれあうことを目的とする。

【活動案】神奈川県エリアでは、下記の通り、17のコースが設定されている。なお、交通量が多い道路や危険な箇所など、自然歩道の趣旨にそぐわない区間は連絡コースとして除外されている。そのため各コースは必ずしも連続していない。神奈川県エリアでは、下記の通り、17のコースが設定されている。

1. 三浦・岩礁のみち 3時間

2. 油壺・入江のみち 1時間
3. 荒崎・潮騒のみち 2時間30分
4. 佐島・大楠山のみち 3時間30分
5. 稲村ヶ崎・磯づたいのみち 1時間45分
6. 湘南海岸・砂浜のみち 2時間30分
7. 大磯・高麗山のみち 2時間30分
8. 鷹取山・里のみち 2時間45分
9. 弘法大師と桜のみち 2時間45分
10. 太田道灌日向薬師のみち 2時間30分
11. 順礼峠のみち 3時間15分
12. 丹沢山塊東辺のみち 3時間45分
13. 山里から津久井湖へのみち 3時間
14. 峰の薬師へのみち 2時間30分
15. 弘法大師と丹沢へのみち 2時間45分
16. 大山参り・蓑毛のみち 3時間30分
17. 北条・武田合戦のみち 5時間30分

【活動スケジュール案】

- 2023年4月 第1回三浦・岩礁のみち
2023年6月 第2回油壺・入江のみち
城跡(新井城)あり
2023年9月 第3回荒崎・潮騒のみち

山岳古道プロジェクト報告(第6回)

12月17日(土)、古道調査チームで八菅修験の行者道11番行所「仏生谷」と思われる蓮久寺上にある三つの社が祀られている場所から12番行所「腰宿」が付近にあったとされている「白山神社」を経て煤ヶ谷の「八幡神社」までを踏査した。



↑11番行所と思われる三社

今回踏査の主な目的は、11番行所の予備調査時に偶然、桜山・白山へ直接登れるのではないかとと思われる場所を見つけたが、どの地図にも記載がなく、改めて踏査することになった。

蓮久寺上からは、既に歩いてきた行所である華嚴山、高取山方面が望まれると同時に大山山頂も遥拝できる。

ここでルートの取付きを探すために少々時間を使ったが、いよいよ、三社の一番右にある明神神社横の鹿柵ゲートから山に入る。

はじめは、藪漕ぎの様相だが、わずかに踏跡もある。しばらく登り、杉の植林帯に入ると同時に笹の背も低くなり、容易に登れるようになる。すぐに稜線出て、山道を桜山に向かう。雑木林の気持ちのいい尾根の縦走となり、やがて12番行所が近くにあったという白山神社に到着する。

白山権現は、山岳信仰と修験道が融合した神仏習合の神であり、修験者にとって重要な場所であることからこの付近が行所であったことにも納得できる。白山神社から白山展望台の間、様々な木々を見ながら歩いたが、途中「イナバウアー」を連想させるスタジイの古木がある。



↑スタジイのイナバウアー

白山の展望台からは、湘南平、鐘ヶ岳、大山方面は見えたとの天候が今一つであり東京、横浜方面は、霞んでぼんやりとしていた。ここから御門橋バス停手前まで下り、煤ヶ谷八幡神社に向かった。八幡神社は、平安時代に京都石清水八幡宮を勧請したものを創始とし、本殿は、1726年(享保11年)の造営という歴史ある神社である。神社には、修験者が回峰の証として立てる碑伝(ひで)が納められていたことから白山～煤ヶ谷の道を修験者が歩いたことが推測できる。修験者は、煤ヶ谷の村の人々から接待を受け、その代わりに村人に祈りを授けながら次の13番行所、谷太郎川支流不動沢の「

不動岩屋・児留園地宿」に向かったのではないだろうか。



↑12番行所があった白山神社

〈コース概略〉本厚木駅(バス) 8:40=9:10 舟沢バス停～9:20 蓮久寺上(ルート探し) 9:55～10:00 桜山～11:05 白山神社～11:25 白山～11:55 登山口～12:15 八幡神社～12:45 清川村役場前バス停=本厚木駅

〈参加者〉込田伸夫、砂田定夫、永井泰樹、中山茂樹、渡邊正敏、葉上徹郎 (葉上記)



桜山にて

鎌倉(源氏山・大仏コース) 自然観察会

令和4年11月19日

快晴の下、源氏山・大仏ハイキングコースを歩き、自然観察会を行いました。北鎌倉駅に集合し、9:20に出発しました。

初めの紅葉観察ポイントは、円覚寺総門付近です。階段わきのイロハモミジは桜に例えれば、5～6分咲きというところでしょうか。つぎの

ポイントは、明月院通りですが、この辺の紅葉は色づきはじめての状態、イチョウが5~6分というところ。横須賀線の踏切を渡り、鎌倉5山の4位、浄智寺に向かいます。浄智寺入口の池、甘露の井戸、山門と進みますが、ここではあまり紅葉が進んでおらず、イチョウだけが黄葉していました。

浄智寺を右手に見ながら歩を進めると、道も狭くなり登りになります。さらに登っていきますと、尾根筋に出て、鎌倉の森が視界に入ります。イヌシデ、ヤブツバキの林間を進んでいくと小高い塚があり、そこを登ると天柱峰石碑があります。本日のコースの最高点です。この石碑の後ろには、名付け親の僧の供養等が祀られています。この塚は、左に巻くと見落とします。ここからは、下りとなり谷を越えれば、日野俊基卿を祀った葛原岡神社に出ます。御神木のムクロジ、カヤが祀られ、縁結び石や俊基卿処刑場跡などがあります。

神社を出ると、すぐに源氏山公園になります。入口にあるこもれび広場で昼食としました。昼食後、源氏山山頂へと歩を進めます。途中、頼朝公像の前で、集合写真を撮り、山頂へと向かいました。山頂は、少広い広場になっていて、祠などが見られます。

山頂から源氏山分岐へ引き返し、大仏コースの尾根道に入っていきます。途中、民家などがあり、開けたところからは、逗子マリーナ方面が望めます。アップダウンを繰り返し、あまり視界がない林間を進みます。途中には、森のカフェへの案内板があったりして、尾根に住宅街が迫っているのが見え始めますと、大仏切通への下りとなり、大仏トンネルの大通りに出ます。高德院の門外から大仏様を拝み、本日の観察会は、終了となりました。

目にした草木の花や実、聞こえた野鳥を以下に記します。

花：ビワ、サザンカ、ヤブツバキ、イモカタバミ、ヤクシソウ、ナワシログミなど

実：サラシナショウマ、イヌビワ、マユミ、ムラサキシキブなど

野鳥：ガビチョウ、メジロ、シジュウカラ、ヒヨドリなど



↑頼朝公銅像前にて

(行程) 北鎌倉 9:20—円覚寺総門—明月院通り—横須賀線踏切渡り—浄智寺(池、井戸、山門)—天柱峰石碑 11:03—葛原岡神社—源氏山公園こもれび広場(昼食:11:45~12:15)—源氏山分岐—源氏山山頂 12:40—源氏山分岐 13:00—大仏コースの尾根歩き—大仏切通しトンネル 13:55—長谷大仏 14:05—江ノ電長谷駅 14:15 解散

(参加者) 大字進、石村日満子、森武昭、森静子、込田伸夫、丸山さかえ、東山一勇氣、関口由美子、渡邊正敏 計9名 (渡邊正敏記)

山行報告

晩餐会山行(弘法山)報告

12月4日(日)の晩餐会山行(弘法山)において、開催元の本部山行委員会から神奈川支部に対し、地元としての協力要請を受け、本山行でのスタッフ業務(受付、山行リーダー、救護、飲料提供等)を担当した。

当日8:30に鶴巻温泉駅前に集合し、スタッフ事前打合せを行い、9:00からの受付業務を開始。事前申込の会員の方々、関東圏(埼玉、東京多摩、千葉、神奈川)の支部会員の方々、山行委員会の方々、それに当日申込された会員の方々と、総勢約70人を受け付けた。この結果、予め計画していたグループの他、当日参加によるグループ等、7つのグループに分かれて、逐次出発した。

山行の行程は、鶴巻温泉駅~吾妻山~弘法山

～権現山～秦野駅という標準コース。

吾妻山では相模湾方面の眺望を楽しみ、弘法山では、イチョウの黄葉が印象的だった。その後、モミジの紅葉を觀賞しながら坂道を登り、権現山にてランチタイムとした。その際、権現山では、神奈川支部として参加の皆さんに甘酒を振る舞った。12月の外気には、温かい甘酒がマッチし、好評を得た。

権現山頂上からは、富士山の姿（但し、頭に若干の雲あり）や、箱根の山並み等が

眺められ、遠くから来られた会員の方々には、印象的な光景ではなかったかと思えた。

帰路は、グループ単位に出発していき、遊歩道のある水無川沿いを歩き、秦野駅にて解散とした。



↑権現山園地にて甘酒をふるまう

〈コース〉鶴巻温泉駅 10:18～10:47 吾妻山
10:52～12:00 弘法山 12:11～12:32 権現山
13:27～14:30 秦野駅

〈スタッフ参加者〉込田、森、葉上、中島、出江、砂田、中山、稲垣、柴山、玉木、早川、関口、永井（永井記）。

かながわ山岳誌 Lコース

箱根碓氷峠

令和4年12月10日

小田原駅東口から桃源台行きのバスに乗り、明神平BSで下車。国道を乙女峠方面に歩く。道路の右側に、ササに隠れた古びた標識がガードレールの奥に見える。「碓氷峠 日本武尊碑」

と書かれている。標識に従い、薄暗い樹林の中を進むと、急斜面にジグザグ道が続いている。やがて右手に水力発電所の太い送水管が現れ、その脇の階段を登る。送水管の右側の樹林の中に、東屋と石碑が見える。薄暗い樹林の中で、石碑の文字が良く見えない。ところどころ文字が判読でき、「日本武尊の征夷討伐〇〇碓氷峠〇」と彫られている。近辺は、碓氷梅園があり宮城野城跡である。

さらに林道を進むと、標高650mあたりに来る。地図には碓氷洞門、碓氷峠と表示があるが、洞門も峠もわからない。林道は水平となり、宮城野起点のゲートがあらわれるが、碓氷峠の痕跡は見当たらない。そのまま林道を進み別荘地に入る。別荘地の案内板には、「仙石原春山荘」の由来が書かれている。ミスティイン箱根の付近で昼食を取り、国道に下る。小田原方面に進み、橋を渡り小塚山地区へ登っていく。やがて、左折して中島箱根山荘の矢印の指す方向へ舗装路を登っていく。さらに登ると舗装路が途切れる。この上のササヤブに覆われた山が小塚山だ。



↑小塚山山頂

踏み跡が上に続き、ササヤブに突入する。密集したヤブを漕ぎ、GPSを頼りに小塚山の山頂に至る。山頂は樹木が刈り払われた空き地になっている。小塚山へ登る登山者は滅多にいないためか、山頂への踏み跡は全くない。山頂を後にして、登ってきたヤブに突入して舗装路に下った。国道に出て、小塚山入口BSからバスに乗り、小田原駅まで戻る。（田島剛記）
〈コース概要〉小田原駅東口＝明神平（バス）～日本武尊碑～碓氷梅園～碓氷峠～小塚山～

小塚山 BS=小田原駅(バス) 歩行時間 3 時間 29 分

<参加者>森武昭、永井泰樹、田島剛、込田伸夫、稲垣哲郎、葉上徹郎、高井延幸、砂田定夫、中島良行、柴山信夫、藤川智恵子、森静子、石村日満子

10:07 八坂神社~10:12 一色 10:17=(バス)=10:46 秦野駅南口 10:54~11:03 今泉名水桜公園~11:55 震生湖 12:38~13:00 浅間台 13:11~14:14 秦野駅

<参加者>森、込田、砂田、稲垣、富岡、石村、関口、丸山、高橋、渡邊、細川、國清、高井(紀)、藤川、田島、永井(永井記)

台山・震生湖

令和 4 年 12 月 10 日

12 月 10 日(土)、JR 東海道本線二宮駅北口から秦野駅南口行きのバスに乗車し、一色にて下車。八坂神社の前を通り過ぎると、登り坂となり、あたりはミカン畑が目立つ。右手には、雲一つない青空の下に大山から丹沢表尾根方面の視界が広がった。緩やかな丘のミカン畑の農道をさらに進むと、玉葱畑の真ん中にポツンと小高い箇所があり、そこが台山の三角点だった。畑の中ということで、三角点に近づくことはできなかったが、畑の外側からは、三角点と富士山の光景が得られた。

来た道を引き返し、一色バス停に戻り、秦野駅南口行きのバスに再び乗車する。

終点秦野駅南口で下車し、ここから震生湖方面へ歩き出す。今泉名水桜公園に寄り道した後、白笹稲荷神社の前を通り、渋沢丘陵を登っていく。渋沢丘陵に登る途中で、振り返ると、ここも大山や丹沢表尾根方面の光景が見渡せる。ということで、ここでメンバー全員での記念撮影を実施。その後、震生湖(1923 年の関東大震災でできた湖のため、そのような名前が付けられた)に下っていき、湖畔にてランチタイムとした。湖畔には紅葉した木々の下で、ヘラブナ釣り人を何人か見かける。

ランチタイムを終了し、渋沢丘陵にある浅間台に向かう。浅間台は、小さなピークで以前は、三角点が設置されていたのだが、現在は、地理院地図からは消されている。浅間台に到着すると、ピークの現在は、ネットで囲まれ、ヤマユリの里として、雑木林の下に咲くヤマユリの保護エリアになっていた。今回の山行は、ここまでとし、丘陵を下り、秦野駅に戻った。

<コース>二宮駅北口 8:36=(バス)=8:50 一色 8:56~9:02 八坂神社~9:43 台山 9:49~



↑ 渋沢丘陵にて(バックは、表尾根・大山)

かながわ山岳誌 H コース

大界木山

令和 4 年 10 月 15 日(土)

山北駅から森様の車に乗り、道志の森キャンプ場の落合橋付近で降りる。ここから歩き始める。三ヶ瀬川東沢の林道を登っていき水晶橋を過ぎる。林道が大きく左に折れた場所に、「城ヶ尾峠登り口 50 分」の道標が立つ。取り付きからジグザグの急斜面を登る。尾根にのると緩やかになり、ロープがついた崩落地をトラバースする。少し下り登り返すと城ヶ峠に出る。白石峠方面へ甲相国境尾根を進む。静かなブナ林が続く気持ちの良い尾根だ。北東に進むと尾根は痩せ、左に浦安峠からの道と合流する。さらに行くと平坦な登山道に大界木山の山名標識が立つ。その先は、尾根が痩せ多少アップダウンとなる。木段を登るとベンチのあるモロクボ沢ノ頭に到着する。ブナ、ツガ、アセビが目立つ尾根をさらに進むと、次の小ピークに至る。バンノ頭だが特徴は無い。さら進むとアップダウンが続き、木段のはしごが鞍部に崩落している。登り返すとシャガクチ丸に到着する。

徐々に尾根が広がり、植生保護柵が右に現れ、緩やかな尾根を進む。やがて傾斜がきつくなり、丸いお盆のようなピークに出て、ベンチで休憩する。ここは、水晶沢ノ頭だ。尾根はここから下り、白石峠の鞍部に至る。



↑白石峠

鞍部から右に急斜面を下る。道は荒れており、はしごが沢に崩落し、木段がくずれている。白い石が目立ち、大理石を採取した旨の案内板が立つ。沢の水量が多くなると白石の滝が見える。数段の滝で圧巻である。この先、白石沢を何回か渡渉するが、木ははしごが数カ所流されていて、沢を飛び石伝いに慎重に渡る。用木沢出合に出たころには、暗くなった。林道を進むと、右側がキャンプ場となり、賑やかな明かりやたき火が多く見える。最近のキャンプの流行により、多くのテントが張られていた。西丹沢 VC から最終バスに乗り、山北駅で降りる。(田島剛記)



↑大界木山山頂

<コース概要>御殿場線山北駅＝落合橋（車）～城ヶ尾峠～大界木山～モロクボ沢ノ頭～パン木ノ頭～シャガクチ丸～水晶沢ノ頭～白石

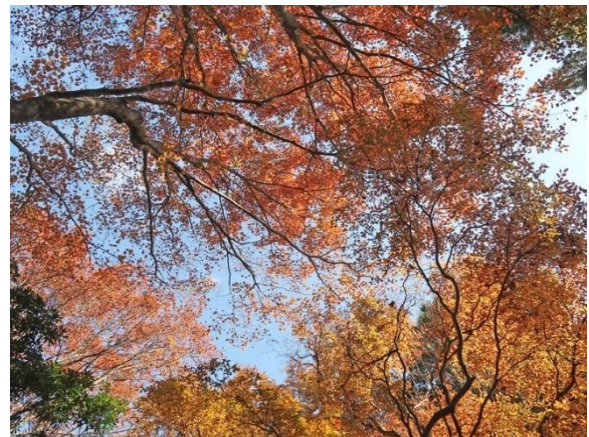
峠～用木沢出合～西丹沢 VC＝山北駅（バス）
歩行時間 8 時間 12 分<参加者>永井泰樹、田島剛、玉木美智子、杉田和美、森武昭（往路サポート）

柵立尾根

令和 4 年 10 月 29 日（土）

柵立尾根とは、宮ヶ瀬湖の北西に位置する金沢の左岸尾根で、南西に本間ノ頭まで続いている。地図に登山道は表示されておらず、道標もないバリエーションルートである。

宮ヶ瀬湖から西へ林道を金沢橋まで歩く。林道の途中には、バードウォッチングをする大きな望遠レンズをつけたカメラマンが数人いる。金沢橋を渡ると、植林帯のヤブの急斜面に踏み跡があるので、それを登る。すぐに尾根の鞍部にのり、態勢を整えて南に続く尾根を歩く。晩秋の気温が低いにもかかわらず、ヒルの攻撃を受ける。踏み跡は明瞭ではないが、尾根の中心付近を登る。送電鉄塔が現れると、その先がタロベエ峰だ。ここから植林帯と自然林の境にシカ柵が続き、柵の左右の歩きやすい場所を登っていく。やがてシカ柵から別れて、自然林の中を登る。アセビ、モミ、ツガの木が目立つ。



↑鐘沢の頭付近の紅葉

傾斜が緩やかになり、またシカ柵に合流して六百沢ノ頭に着く。急斜面が続き、紅葉した落ち葉に足を取られながら、どんどん登る。849 mの峰に来ると平坦な場所となり、柵立ノ頭の手製標識を見る。尾根は緩やかに続き、踏み跡は落ち葉に消されているので気ままな登山が楽しめる。やがて斜面は急になり、地面に両手

をつきながら登っていくと、北側の早戸川から登ってくる尾根と合流する。付近の紅葉は真っ盛りで赤や黄色の葉が美しい。やっと 1108m のピーク、鐘沢ノ頭に到着するが、思いのほか時間がかかった。さらに上へ続く尾根を本間ノ頭に登りたいが、時間的に無理だと諦めて、元来た尾根を金沢橋まで下る。宮ヶ瀬BSに着く頃には、真っ暗となった。(田島剛記)



↑ 鐘沢の頭にて

<コース概要>本厚木駅=宮ヶ瀬BS(バス)～金沢橋～タロベエ峰～六百沢ノ頭～榎立ノ頭～鐘沢ノ頭～榎立ノ頭～六百沢ノ頭～タロベエ峰～金沢橋～宮ヶ瀬BS=本厚木駅(バス)
歩行時間 8 時間 2 分

<参加者>永井泰樹、田島剛

風巻ノ頭

令和 4 年 11 月 3 日 (土)

エビラ沢橋でタクシーを降りる。エビラ沢大滝の右から風巻ノ頭北尾根の点線道を登る予定だ。滝の手前右を見ると、崖になっており、到底登ることはできない。仕方なく車道を奥へ歩き、北尾根への取付きを探す。ところが、うらたんざわ溪流釣場駐車場から先は、通行禁止となっている。本日の登山は不可能となったので、中止とした。(田島剛記)

<コース概要>JR 橋本駅=三ヶ木(バス)=エビラ沢橋(タクシー)。うらたんざわ溪流釣場より先の県道 76 号線が通行禁止のため山行を断念。

<参加者>永井泰樹、田島剛、玉木美智子、杉田和美

台ヶ岳

令和 4 年 11 月 13 日 (土)

台ヶ岳は、コース距離が短く本来Lコースの山行であるが、登山道が明瞭でなく、ヤブ漕ぎとなるためHコースとした。

小田原駅東口から湖尻・箱根園行きのバスに乗り、国有林前BSで下車。車道を少し戻り、左側に廃道となった林道入口を見る。天候は薄曇りで、これから登る台ヶ岳の山頂はガスがかかっている。雨具の上下をつけ、廃林道を北に歩く。荒れている林道は、途中からササヤブに覆われる。細い踏み跡を追って、ヤブに突入する。進みながら、台ヶ岳から南東に延びている尾根に取付く地点を探る。南東尾根を回り込んだ付近から、ヤブの急斜面の植林帯を登る。ケモノ道が錯綜しているので、登りやすい踏み跡をササヤブにつかまりながら追う。急斜面を抜け、徐々に高度が上がると、ヤブは腰程度になり、ヒメシヤラが目立ち始める。南東尾根にのると傾斜が緩やかになり、ヤブも低くなる。やがて、赤テープが見え、平らな山頂に出る。一本の巨木が立つ場所があり、ここが山頂と思われる。付近は、樹木が切り開かれ明るい。が、風が強くなり、時折雨粒が飛ぶ。山頂の標高は、GPSを見ると1052mとなっている。地図を見ると、三角点が、山頂西の少し低い位置に記載されている。三角点の標高は1044mだ。行ってみるが、アブラチャンとアセビの木があるのみで、四等三角点は確認できなかった。山頂に戻り、記念撮影をした。雨模様となりそうなので下山することにして、GPSを頼りに元来た軌跡をたどる。ヤブを除けながら、尾根を下り、急斜面のササヤブを下る。途中から踏み跡を見つけ、往路より尾根の東側の廃林道に出た。林道に戻り国有林前BSまで来ると、運よくバスが来て小田原駅まで乗車した。(田島剛記)



↑ 台ヶ岳山頂

<コース概要>小田原駅＝国有林前 BS (バス) ～林道入口～台ヶ岳～林道入口～国有林前 BS＝小田原駅 (バス) 歩行時間 1 時間 35 分

<参加者>永井泰樹、田島剛、森武昭、稲垣哲郎、杉田和美、砂田定夫、葉上徹郎、中島良行、関口由美子

— 会員寄稿 —

『私のルーチンワーク 2』

西垣竜一

以前の支部報で、テント泊の早朝のルーチンワーク「白湯を飲む」を紹介した。もちろんルーチンワークは他にもある。登山の食事である。

登る前の食事は「豚汁」と決めている。

例えば、富士登山の朝食も毎回「豚汁」である。当日、朝 3 時に車で出発して仲間をピックアップし、富士吉田市へと向かう。夜が明け始める朝 5 時前、高速道路の富士吉田 IC を降りたあたりで朝食となる。

ドライブインに立ち寄り、必ず「豚汁、山盛りごはん」を頼む。湯気がたつ熱々の豚汁をふーふー言いながらすすむ。味噌の良い香り、強い塩気に身体が一気に目覚める思いがする。豚肉の脂のコク、ゴボウの風味と白いご飯が、とても合う。

熱々の汁物を飲み干すとお腹がじんわり熱くなり、身体が一気に「山モード」へと切り替わる。

「さあ、今日も登ろう。頂上を目指して」
登る前のルーチンワークがあるなら、当然、下山のルーチンワークもある。下山後の食事は「うどん」と決めている。

例えば、富士登山なら「吉田うどん」、丹沢縦走なら（下山には早い）鍋割山荘の「鍋焼きうどん」は必ず食べる。箱根の山に登ったら小田原駅の名代 箱根そばで「うどん」をあえて頼む。有名どころでなくても駅にある立ち食いうどん、ドライブインにある自販機のうどんも美味しい。

水をがぶ飲みし若干もたれ気味の胃に、うどんの温かいツユは優しい。月見うどんの玉子の黄身をつゆに溶かすと、もっと優しい味になる。

ツユを全部飲み干せばお腹がじんわりと温かくなり、疲れ切った全身の筋肉もゆるむ。

「今日も良い登山でした。ごちそうさま」



写真は鍋割山荘の名物「鍋焼きうどん」。早春の登坂で冷え切った身体に、アツアツのうどんが染み渡る。涙が出るほど旨い。最高です。

役員会報告

10月役員会

日 時：令和4年10月20日（木）：19:00～20:05

場 所：かながわ県民センター706 会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、中島、柴山、出江

(オンライン)：大槻、早川、森、葉上、落合、渡辺、長島、玉木、砂田監事

委任状による出席：廣岡、田島、植木、青木

[報告事項]

(1) 会員の異動

- ・退会：9344 細井澄子、15001 左光大和

(2) 連絡事項

- ・9/17～10/30 に清川村の宮ヶ瀬ダム 水とエネルギー館で開催されている丹沢資料保存会 20周年記念展示会についての案内があった。

(3) 山行報告

- ・9/22・23 に予定していた蛭ヶ岳（山岳誌Hは雨天のため中止とした。
- ・9/24 に予定していた葛葉の自然観察会は雨天のため中止とした。
- ・10/8 に山岳誌Lコースとして、小田原駅東口 BS＝（バス）＝明神平 BS～碓氷峠登山口～日本武尊碑～碓氷峠～宮城野林道起終点～俵石～小塚入口～小塚～小塚山～小塚入口 BS＝（バス）＝小田原駅を実施。参加者は13名。
- ・10/15 に山岳誌プロジェクトHコースとして、山北駅＝（車）＝道の駅どうし～落合橋の3名と御殿場駅＝（河口湖駅行バス）＝旭日丘＝（車）＝落合橋の2名がここで合流落合橋～城ヶ尾峠～大界木山（昼食）～モロクボ沢ノ頭～バン木ノ頭～水晶沢ノ頭～白石峠～道志分岐点～白石峠～用木沢出合～西丹沢ビジターセンターBS を実施。参加者は5名+サポート1名。

[審議事項]

(1) 年間計画

- ・支部総会は5/20（土）を予定。
- ・スキー・スノーシューハイキングは3/11～

3/13 で実施。幹事は出江が担当。

- ・4/15（土）に山岳誌プロジェクトの踏査ファイナーレを湘南平で実施。詳細は年明けに提示する。

- ・5/27・28 に山菜取りハイキングを実施予定。

- ・8/2・3 にユアーズインをベースとして長岡花火大会を見学する案が提案された。

(2) 山行計画

- ・10/29 に山岳誌プロジェクトHコースとして、本厚木駅北口 6:55＝バス＝7:45 宮ヶ瀬 8:00～8:50 金沢橋～10:15 六百沢ノ頭 10:20～10:55 梅立ノ頭 11:05～12:10 鐘沢ノ頭（昼食）12:30～13:20 梅立ノ頭 13:25～13:55 六百沢ノ頭 14:00～15:10 金沢橋～16:00 宮ヶ瀬＝バス＝本厚木駅を実施予定。
- ・11/3 に山岳誌プロジェクトHコースとして、橋本駅北口 6:40＝（バス）＝7:10 三ヶ木＝タクシー＝エビラ沢橋～二ノ尾山～風巻ノ頭～二ノ尾山～エビラ沢橋～音久和～東野 BS＝バス＝三ヶ木 BS＝バス＝橋本駅を実施予定。
- ・11/13 に山岳誌プロジェクトHコースとして、小田原駅 9:00＝バス＝国有林前 BS～台ヶ岳～国有林前＝バス＝箱根湯本駅または小田原を実施予定。なお、このコースは当初Lコースとして実施予定であったが、かなり厳しい藪漕ぎが続くとの情報があり、Hコースに変更して実施することにした。
- ・11/23 に山岳誌プロジェクトHコースとして、秦野駅北口 7:00＝タクシー＝丹沢ホーム～上ノ丸～新大日～塔ノ岳～日高～寿岳～日高～塔ノ岳～大倉 BS＝バス＝渋沢駅を実施予定。
- ・11/26 に古道プロジェクトとして、小田原駅東口 8:25＝バス＝元箱根港 BS～賽の河原～一の鳥居～旧街道権現坂～お玉が池～精進が池歴史館・石仏群～芦之湯東光庵～湯坂道入口～鷹ノ巣山～浅間山～大平台分岐～湯坂山～湯坂城址～箱根湯本駅を実施予定。
- ・11/19 に自然観察会として、横須賀線北鎌倉東口（円覚寺出口）10:30～（横須賀線踏切わたる、浄智寺）～葛原岡神社～源氏山公園（昼食、頼朝像、源氏山山頂など）

～（大仏コースの尾根歩き、大仏経由）～
江ノ電長谷駅を実施予定。

- ・12/10 に山岳誌プロジェクトLコースとして、二宮駅北口 8:45＝バス＝一色 BS～台山（三角点）～一色 BS＝バス＝秦野駅 BS～震生湖～浅間台（三角点のあった場所は立ち入り禁止）～八国見山～渋沢駅を実施予定。

（3）その他

- ・県岳連主催県民登山：11/6 に実施予定。山行は大倉～三ノ塔～二ノ塔～大倉で行う。当会に2名のスタッフ派遣要請頼あり。

（前回資料5－9参照）

- ・次期プロジェクト案について審議した。

- ① 中島より、城跡ハイキングの実施案について説明があった。
- ② 永井より、関東ふれあいの道の神奈川エリアを歩く（ハイキング）案について説明があった。）
- ③ この2案をさらに詰めて実施の可否を決めることにした。

- ・永井より、本部国土地理院対応WGを通して、地理院発行の地形図での登山道情報に変化があった場合に、その情報を提供してほしいとの要請があった旨の説明があった。

- ・晩餐会山行への協力：12/6 に鶴巻温泉～吾妻山～弘法山～権現山～秦野駅で実施することになった。

[報告事項]

- （1）会員の異動 …… 今回無し

（2）案内連絡

- ・永井より、本部ユースクラブ主催の第4回「語りの場」の案内（10/27 19:30 から）について説明があった。すでに支部会員にはメールで案内済み。
- ・永井より、2021年度の活動を Google Photo に画像を掲載するようにした旨の説明があった。

（3）山行報告

- ・10/9 に山岳誌プロジェクトLコースとし山北駅～浅間山～丸山～山北駅＝谷峨駅～城山～谷峨駅を実施した。参加者は13名。
- ・10/16 に自然観察会（講師：渡辺正敏）を本厚木駅～厚木神社～有賀神社～三川公園～座架依橋橋脚下～磯部～磯部頭首工～三段の滝～相模線下溝駅で実施した。参加者は14名。

[審議事項]

（1）年間計画

追加項目なし。会議室は4月分まで確保。

（2）山行計画

- ・10/23 に山岳誌Hコースとして、相模湖駅＝（バス）プレジャーフォーレスト～大明神展望台～石老山～高塚山～石老山～牧馬峠～石砂山～城山（伏馬田城跡）～伏馬田入口 BS＝三ケ木＝JR 橋本駅を実施予定。参加申し込みは6名。

- ・11/13 に山岳誌Lコースとして、新松田駅＝田代向 BS～宮地山～寄～中山峠～浅間山～中山峠～県民の森入口～堀川 BS＝渋沢駅を実施予定。

- ・11/27 に山岳誌Hコースとして、本厚木駅＝宮ヶ瀬三叉路～高畑山～松小屋ノ頭～本間ノ頭～丹沢三峰～丹沢山～竜ヶ馬場～塔ノ岳～堀山の家～大倉 BS を実施予定。

（3）山岳古道プロジェクトに関して

葉上と砂田より、プロジェクトの進捗状況について説明があった。地元の教育委員会などの協力が得られ、情報収集が進められている。現地調査も一部開始している。中山顧問からプロジェクトへの参加が表明されている。

（4）その他

- ・永井より、11/7 に県岳連主催の県民登山のイベントにサポートの要請が来ている旨の説明があり、永井が参加することになった。

- ・森より、かながわ山岳誌プロジェクトの編集作業が進んだので、10/20 に編集者4名でアドバイザーを依頼している節田元副会長（山と溪谷社OB）と意見交換をした旨の説明があった。

- ・森より、小笠原会員が経営する妙高新赤倉温泉のユアーズインを支部の前進基地として利用させていただき、四季を通して支部主催山行を実施してはとの提案があり、積極的に進めることにした。当面は、2月または3月のスキー・スノーシューハイキング、5月頃の山菜取りを兼ねた山行を計画することにした。

11月役員会

日時：令和4年11月17日（木）19:00～20:15

場所：かながわ県民センター710会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、田島、葉上、柴山、中島

（オンライン）大槻副支部長、早川副支部長、森、落合、渡辺、長島、出江、植木

監事：砂田

委任状による出席：柴山、青木

[[報告事項]

(1) 山行報告

- ・10/29に山岳誌プロジェクトHコースとして、本厚木駅北口＝（バス）＝宮ヶ瀬～金沢橋～六百沢ノ頭～梅立ノ頭～鐘沢ノ頭～梅立ノ頭～六百沢ノ頭～金沢橋～宮ヶ瀬＝（バス）＝本厚木駅を実施。参加者は2名。
- ・11/3に山岳誌プロジェクトHコースとして、橋本駅北口＝（バス）＝三ヶ木＝（タクシー）＝エビラ沢橋。通行止めのため、山行を中止。参加者は4名。
- ・11/13に山岳誌プロジェクトHコースとして、小田原駅＝（バス）＝国有林前BS～台ヶ岳～国有林前BS＝（バス）＝小田原を実施。参加者は9名。

(2) その他

- ・11/6に県岳連主催の県民登山の三ノ塔登山に永井がスタッフとして参加した。

[審議事項]

(1) 年間計画

- ・今後の主な計画を確認した。

(2) 山行計画

- ・11/19に自然観察会として、横須賀線北鎌倉東口（円覚寺出口）10:30～（横須賀線踏切わたる、浄智寺）～葛原岡神社～源氏山公園（昼食、頼朝像、源氏山山頂など）～（大仏コースの尾根歩き、大仏経由）～江ノ電長谷駅を実施予定。
- ・11/23に山岳誌プロジェクトHコースとして、秦野駅北口 7:00＝タクシー＝丹沢ホーム～上ノ丸～新大日～塔ノ岳～日高～寿岳～日高～塔ノ岳～大倉BS＝バス＝渋沢駅を実施予定。

- ・11/26に古道プロジェクトとして、小田原駅東口 8:25＝バス＝元箱根港BS～賽の河原～一の鳥居～旧街道権現坂～お玉が池～精進が池歴史館・石仏群～芦之湯東光庵～湯坂道入口～鷹ノ巣山～浅間山～大平台分岐～湯坂山～湯坂城址～箱根湯本駅を実施予定。
 - ・12/10に山岳誌プロジェクトLコースとして、二宮駅北口 8:45＝バス＝一色BS～台山（三角点）～一色BS＝バス＝秦野駅BS～震生湖～浅間台（三角点のあった場所は立ち入り禁止）～八国見山～渋沢駅を実施予定。
 - ・山岳誌プロジェクトHコースとして、1日目：渋沢駅＝（タクシー）＝県民の森～二俣～後沢乗越～鍋割山～熊木沢出合（昼食）～弁当沢ノ頭～棚沢ノ頭～不動ノ峰～棚沢ノ頭～蛭ヶ岳（泊）、2日目：蛭ヶ岳～白ヶ岳～金山谷ノ頭～金山谷乗越～檜洞丸～熊笹ノ頭（昼食）～大コウゲ～小コウゲ～犬越路～西丹沢VC＝（バス）＝新松田駅を実施予定。日程は12/19～12/22の間で天候などを考慮してリーダーが決める。留守本部は次回決定する。
- ### (3) その他
- ・晩餐会山行：詳細は永井と本部山行委員会（長島）で調整して決める。
11/23までに早川から救護体制案、同じく長島から本部山行委員会での体制案を提出して戴く。
 - ・次期プロジェクト：城跡ハイキングと関東ふれあいの道の2件を実施することにした。これに関連して、Hレベルの企画についても検討することが確認された。また、非会員にも参加を呼び掛けるにあたっては、ホームページの充実と申し込み受付用のアドレス設置の必要性が確認され、今後検討することにした。
 - ・スキー・スノーシュー：出江より具体案が提示され、さらに詳細を検討し次回決定することにした。
 - ・プロジェクトの報告書出版：森より、山と溪谷社との打ち合わせ内容が報告された。今後の対応をプロジェクトチームの幹事と支部長で協議し、内容がまとまり次第役員会で審議することにした。
 - ・古道プロジェクト：葉上より、本部から記念

グッズの販売を行うとの連絡があった旨の説明があった。

12月役員会

図を日時：令和3年12月15日（木）：19:00～20:55

場所：かながわ県民センター708会議室

出席者：込田支部長、永井事務局長、中島、田島、柴山、廣岡

（オンライン）：早川、森、葉上、落合、渡辺、出江、植木、玉木、富岡監事、砂田監事

委任状による出席：長島、青木、田中

[[報告事項]

（1）会員の異動

- ・他支部への異動：15420 中村正之（東京多摩支部へ）、15834 小林英世（広島支部へ）
- ・入会：河内一実（無所属から）

（2）山行報告

- ・11/19に自然観察会として、横須賀線北鎌倉東口（円覚寺出口）～浄智寺～葛原岡神社～源氏山公園～大仏コースの尾根歩き～長谷大仏～江ノ電長谷駅を実施。参加者は9名。
- ・11/23に予定していた上ノ丸・寿岳（山岳誌H）と11/26に予定していた湯坂道（古道プロジェクト）は、雨天のため中止とした。
- ・12/10に山岳誌プロジェクトLコースとして、二宮駅北口＝バス＝一色BS～台山（三角点）～一色BS＝バス＝秦野駅～震生湖～浅間台（三角点のあった場所は立ち入り禁止）～秦野駅を実施。参加者は16名。

（3）連絡事項

- ・県岳連より、丹沢表尾根の新大日茶屋の建物を解体することになった旨の連絡があった。
- ・永井より、本部のHPがリニューアルされた関係で支部のHP作成対応の留意点について説明があった。

[審議事項]

（1）年間計画

- ・来年度以降、城跡ハイキングと関東ふれあいの道の2つのプロジェクトを原則として毎月（7・8月を除く）第2土曜日に交互に実施することにした。

（2）山行計画

- ・12/17に古道プロジェクトとして、本厚木駅＝（バス）＝舟沢BS～蓮久寺～桜山～白山神社～白山展望台・三角点～御門橋～八幡神社～別所温泉入口BS＝（バス）＝本厚木駅を実施予定。
- ・12/20・21に山岳誌プロジェクトHコースとして、
 - 1日目：渋沢駅＝（タクシー）＝県民の森～二俣～後沢乗越～鍋割山～熊木沢出合（昼食）～弁当沢ノ頭～棚沢ノ頭～蛭ヶ岳（泊）
 - 2日目：蛭ヶ岳～臼ヶ岳～金山谷ノ頭～金山谷乗越～檜洞丸～熊笹ノ頭（昼食）～大コウゲ～小コウゲ～犬越路林道分岐点～犬越路林道～犬越路～西丹沢VC＝（バス）＝新松田駅を実施予定。
- ・1/14に古道プロジェクトとして、伊勢原駅北口＝（バス）＝大山ケーブル～男坂～下社～16丁目～25丁目～山頂～雷ノ峰尾根～見晴台～下社～女坂～大山ケーブル駅＝（バス）＝伊勢原駅北口を実施予定。
- ・1/21に山岳誌プロジェクトLコースとして、渋沢駅～八国見山（やくにみやま）～頭高山入口～頭高山（ずこうやま）～白山神社～名水若竹の泉～渋沢駅を実施予定。
- ・1/28に山岳誌プロジェクトHコースとして、秦野駅北口＝（タクシー）＝丹沢ホーム～上ノ丸～新大日～塔ノ岳～日高～寿岳（三角沢ノ頭）～日高～塔ノ岳～大倉BS＝（バス）＝渋沢駅を実施予定。
- ・2/4に自然観察会として、座間駅～谷戸山公園入口～園内散策（水鳥の池、野鳥観察小屋など）～座間駅を実施予定。
- ・3/11・12に妙高のホテル「ユアーズイン」をベースとしたスキー・スノーシューの集いに関する詳細な実施案について説明があった。出江が担当し、参加希望者を募集する。
- ・5/27・28に妙高のホテル「ユアーズイン」をベースとした山菜取りハイキングに関する詳細な実施案について説明があった。森が担当し、3月に入って募集案内することにした。

(3) その他

- ・プロジェクトの報告書出版：森より、山と溪谷社との打ち合わせ内容に基づいた費用負担について説明があった。出席者から多くの意見が出され、これらを参考に山と溪谷社から見積が届いた段階で審議することにした。
- ・城跡ハイキング：中島より、3月以降の実施計画について説明があった。担当者を増やしてチーム編成にして役割を分担してはとの提案があった。
- ・支部報：1月発行予定の支部報に関して、執筆担当者を決めた。
- ・自然観察会の今後の予定：2/4、4/29、6/3、9/30、11/18

日 時：1月28日（土）
上の丸、寿岳（かながわ山岳誌Hコース）

日 時：2月4日（土）
場 所：谷戸山探鳥会（自然観察会）

日 時：2月11日（土）
場 所：大山裏参道（古道PJ）

日 時：3月4日（土）
場 所：八菅修験道（古道PJ）

日 時：3月11日（土）～13（月）
場 所：妙高高原スキー・スノウシュー

日 時：3月18日（土）
場 所：小机城（城址ハイキング）

日 時：4月22日（土）
場 所：三浦岩礁のみち（ふれあいのみち）

今後の予定 役員会

- 1月19日（木）19時～県民センター708
- 2月16日（木）19時～県民センター710
- 3月16日（木）19時～県民センター710
- 4月20日（木）19時～県民センター710
- 5月18日（木）19時～県民センター709

総会

- 5月20日（土）13時～17時
県民センター301

山行計画

日 時：1月21日（土）
頭高山（かながわ山岳誌Lコース）

支部会員動静

《支部新加入》

13905 河内一実（無所属から）

《支部退会》

9344 細井澄子（退会）

15001 佐光大和（退会）

15420 中村正之（東京多摩支部へ）

15834 小林英世（広島支部へ）

あとがき

新年あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしく願いいたします。

今年の神奈川支部山行の概略をお伝えいたします。かながわ山岳誌プロジェクトは、終盤を迎え、4月15日の湘南平でフィナーレを飾る予定です。また新企画として、関東ふれあいの道（幹事/永井泰樹）と城跡（幹事/中島良行）がスタートします。自然観察会と古道PJ、丹沢Hコースは引き続き実施します。妙高高原のユアーズインを拠点としたスキースノーシュー山行や山菜取り山行も実施する予定です。皆様の参加をお待ちしております。

本年も皆様やご家族にとって良いお年となりますように、祈願いたします。広報担当一同

発行：日本山岳会神奈川支部 支部長：込田伸夫

編集者：田島剛、永井泰樹、長島泰博、葉上徹郎

令和5年1月1日